

# 「薬品」「油」「耐熱部」の“漏れ対策”や“補修”に大活躍 あらゆる現場に常備されている「万能コーティング剤」 の実力



世の中のあらゆる施設には、様々な配管が通っている。

特に特殊な環境である「工場」では、配管の中を通る「危険物質」「有害物質」を外部に漏らすことは決してあってはならない。

また医療現場の場合は、様々な「薬品」が混ざりあった“雑排水”が四六時中通過しており、漏れてしまうようなことが万が一あれば、被害は計り知れない。

そのため、このような特殊な環境では「配管」「ダクト」「タンク」などに“漏れ”が生じないように、常々細心の注意が払われている。

しかも高頻度でメンテナンスを行う必要があるうえ、そもそも施工時にどの「材料」を選べばよいか分からず、頭を抱えることもあるという。

一般家庭の配管であれば、漏れそうな“穴”や“亀裂”を確認した際は、市販の接着剤やシリコンなどで塞いでしまえば済む話だが、

「高温の気体」や「薬品」などが通過する配管では、その過酷な環境に耐えうる特殊なコーティング剤が必要になるのだ。

そんな「気の緩みが絶対に許されない現場」で広く備えられ、絶大な信頼を寄せられている唯一無二の“万能コーティング剤”がある。

それが「ワンダーコート（FC-700）」だ。



ダクト・配管に「穴」や「亀裂」を見つけた際に、すぐにそこをコーティングすることができる“フッ素樹脂系コーティング剤”だ。

しかもただのコーティング剤ではなく「耐熱性」「耐薬品性」「耐油性」の3つを兼ねそろえているのが大きな特徴だ。

「高温の気体」が通る配管、  
「薬品が混ざった雑排水」が通る配管、  
「ガソリン・灯油・重油・軽油」が通る配管、

など、様々な環境に対応している。



「ワンダーコート (FC-700)」を現場に置いておくだけで、厳しい条件下の「ダクト」「配管」の修復に役立つ。

漏れが生じそうな箇所を万が一見つけた際の心強い“緊急用具”になるほか、メンテナンスの頻度を減らすことができるため、費用や時間的なコストも大幅に圧縮できるのだ。

特殊な「ダクト」や「配管」のある設備であれば「必ず備えておきたい製品」と言えるのではないだろうか。



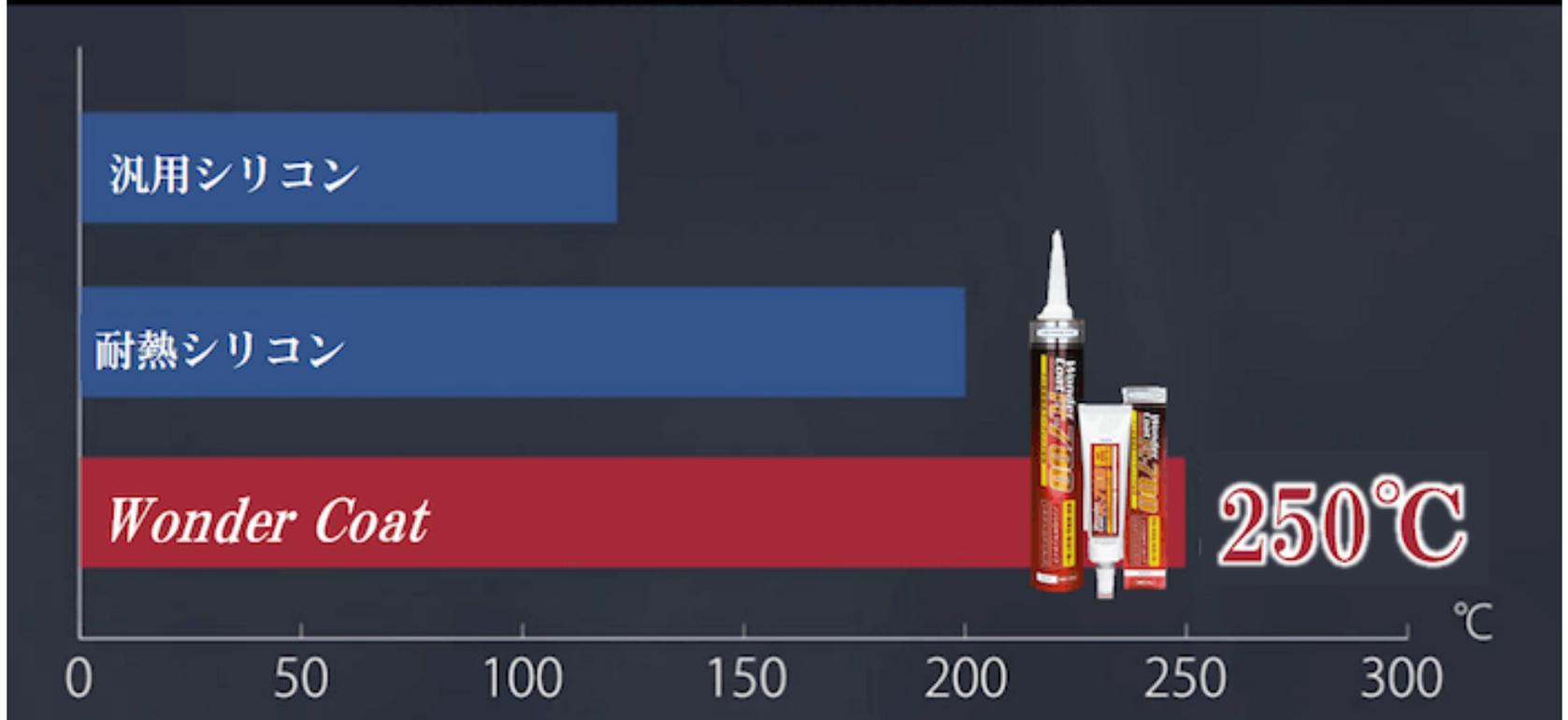
国内に「**耐熱性・耐薬品性・耐油性**」の3つを兼ねそろえた、同様のコーティング剤はあまり見当たらない。

3つ全ての性能を同時に兼ね備えた、「**万能コーティング剤**」として、あらゆる環境に対応できるのだ。

とはいえ、万能だからと言って、それぞれの“耐性度合い”に関しても侮ることなかれ。

耐熱性に関しては、一般的な「汎用シリコン」は120°C、「耐熱シリコン」で200°Cの熱までしか耐えられないが、「**ワンダーコート (FC-700)**」は「**250°C**」までの熱にも耐えることができる。

# 常用耐熱性比較



耐薬品性に関しても、「酸性」と「アルカリ性」のどちらにも強いのが特徴だ。

「濃硫酸」「塩酸」「硝酸」「水酸化ナトリウム」など様々な薬品に対して、耐久性を持つ。

# 耐薬品性比較

	濃硫酸	塩酸35%	硝酸60%	水酸化ナトリウム35%
シリコン	×	△	△	○
Wonder Coat	◎	◎	◎	◎

病院や工場現場といった施設内では、様々な成分の薬品を扱うが、「酸性」や「アルカリ性」などの性質が異なる薬品にも耐えうるため、何千種類もの薬品を扱う配管でも安心して使える。

「耐油性」に関しても優れており、仮に“ガソリン”や“油”が混在していても問題なくコーティングが保たれる。

## 耐油性比較

	ガソリン	灯油	軽油	重油
シリコン	×	△	△	○
Wonder Coat	◎	◎	◎	◎



そのため、「石油プラント工場」や「化学工場」など、幅広い工場で常備されているのだ。



また成分に「シリコン」が含まれていないのも、大きな特徴だ。

通常のシリコンが配合されたコーティング剤の場合「シロキサンガス」が発生する。

電子機器工場や塗装工場などでシロキサンガスが発生すると、製品が損傷を起こしたり、塗装ムラが生じかねない。

対して「ワンダーコート (FC-700)」の場合、シリコンが入っておらず、「シロキサンガス」の発生を「ゼロ」に抑えることが可能だ。

さらには「ワンダーコート (FC-700)」は配管やダクトの補修だけにとどまらず、産業用機械や精密な電子機器のコーティングにも使用され、使用用途も幅広い。

電気絶縁性にも優れており、ノンシリコン化が進む「IT産業」業界を救う製品としても注目が集まっているのだ。

通常のコーティング剤	Wonder Coat
 <p>シリコンから シロキサンガス 発生</p> <p>↓</p> <p>製品の損傷・接触不良・導通不良 の原因に...</p>	 <p>シリコン × シロキサンガス 発生 ゼロ!!</p> <p>↓</p> <p>電気絶縁性も優れており ◎精密な電子機器のコーティング</p>

使い方は通常のコーティング剤同様、特殊な工具や技術は必要がない。

配管の「穴」や「亀裂」「ひび割れ」の塗布面のごみなどを取り払った後、そこへ隙間なく慎重に塗りこむだけ。

硬化後は、水質試験にも合格しているため、非常に扱いやすいのも人気の秘密だろう。

「25℃」の場所で作業した場合、「約1～3日」程度で完全に硬化する。

カラーも（目立たない）「ホワイト」と「グレー」の2種類が用意されているため、気になる箇所は随時コーティングしておくとも良いだろう。

そんな「[ワンダーコート \(FC-700\)](#)」には「カートリッジタイプ」と「チューブタイプ」の2種類が用意されている。

頻繁に使用する場合は、カートリッジタイプの方がグラム上割安にはなるが、チューブタイプを備えておくだけでも安心だ。

タイプ	カラー	内容量	入数
カートリッジ 	ホワイト グレー	330ml	1ケース 10本入り
チューブ 	ホワイト グレー	100g	1ケース 12本入り

いかがだったでしょうか？

このように耐熱性・耐薬品性・耐油性の全てを兼ねそろえた「[ワンダーコート \(FC-700\)](#)」は、

「排気ダクト」や「配管フランジ部」「排水溝部」から、  
「薬液配管」「薬液槽内」「油液槽」など、

あらゆる箇所のコーティングに役立つことだろう。

配管ごとにコーティング剤を使い分けていた現場では、「[ワンダーコート \(FC-700\)](#)」に統一することで使い間違えるリスクも大幅に減らせる。

特殊な環境にある「工場」「医療施設」は、少しの油断が危機的状況に繋がるため、常に細心の注意が払われている。

ダクト・配管のちょっとした「亀裂」や「ひび割れ」も、大事に発展しかねないのだ。

そんな現場において、様々なケースに万能に対応できる「[ワンダーコート \(FC-700\)](#)」は常備しておくだけで心強い味方になること間違いなしだ。

公式HPには、さらに細かな製品情報が記載されている。

少しでも気になった担当者の方は、覗いてみてほしい。

▼詳細はこちら



熱・薬品・油に強い！  
コーティングの切り札

“フッ素系コーティング”  
**Wonder Coat (FC-700)**

- ・カートリッジタイプ 330ml×10本
- ・チューブタイプ 100g×12本

Wonder Coat FC-700  
フッ素樹脂系コーティング材料

Wonder Coat FC-700  
フッ素樹脂系コーティング材料

Wonder Coat FC-700  
フッ素樹脂系コーティング材料

詳細はこちら ▶